

**質問①:学校は、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。(7)**

- 校長先生や教頭先生を核心としてよく意思疎通を図っておられるため、学校組織としての運営になんら不安を覚えないため。
- コロナ禍の中、いろいろな取組み有難うございます。
- 新型コロナウイルス流行の中、校内音楽会を鑑賞させていただきました。子どもたち、一人ひとりが主体的に本当に自信をもって表現している姿に感動しました。先生方の子どもたちに対する暖かい接し方などを見ても、全職員一丸となって開催しているパワーを感じ、まさに笑顔で、楽しく、幸せを感じる広沢小だと思ったからです。
- 触れる機会がないので正直、全職員って聞かれると??ってなりますが、学校に対してもっとこうしてくれたらという不満がないから。
- (質問②とも重複するが)地域と連携した取組を進めようと感じられるから。
- 自己肯定感、創造力、粘り強さ、自制心、等創造力は親が驚く事・物を表現している。粘り強さは日本ぼくて随所にある 自制心コロナルールなどしっかり守っている 凄い子供達だからもっと自己肯定感が強くて良いのになと思った。
- 教育目標は共有されて、それぞれに取り組んでいると思うが、(3)Society5.0時代を生きる力を育成するに関して、視点はたくさん示されているものの、組織としてどこまで落とし込まれているか分かりません。⇒「主体的・対話的で深い学び」の進め方やICTの活用等について、さらに具体的な展開を皆で考えて推進したほうが良いのではないのでしょうか？

**質問②:学校は、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会と連携した学校運営を進めている。(7)**

- コロナ禍の中、VTCの活用など出来るだけ会議への参加環境を整えつつ、毎回予定時間を超えて建設的に意見交換を実施しているため。
- 教職員との話をする時間を増やすことと、問題点を共有し実行していきたい。
- 校長先生を中心に、今年度第一回の塾義が持てたこと。
- コロナ禍ではありますが定期的な会議での意見交換や、さくら連絡網使ったのお知らせなどで学校を知る機会があるから。
- 令和2年度までの学校運営協議会も参加しているが、これまでよりも、より多くの参加を募り、取り組む姿勢が感じられるため。※但し、コロナ禍により実際の会議体や取組が実践しにくいのが残念である。
- 予定表を消化するだけで大変でしょうに学校運営協議会の中身も現場でやっていたから。
- 学校運営協議会を活かそうとはしているが、学校側は管理職のみが対応しており教職員とのコンタクトはほとんど無い。昨年10月に熟議を開催し、教職員と保護者・地域との認識の共有と協働のマインドは生まれたが、具体的なアクションにつながっていない。⇒教職員がこのような活動に関わる時間的余裕が必要です。また、地域と協働することでこの余白を生み出せるという実体験ができるようになったら良いと思います。(ニワトリかタマゴかの関係ですが)

**質問③:学校は、校務分掌において機能的に役割を分担するとともに、打ち合わせや会議等が円滑に行われるような体制づくりに努めている。(4)**

- 学校内の体制については、みえてこないです。

- アンケートの結果から、そう感じた。
- 実情はわからないが、職員アンケートをとったりして本音を聞こうと努力しているし全体の時間も限られているので機能的に動いていると想像する。
- どのように役割分担をしているか承知していませんが、特定の人に負担がかかりがちなのと、縦割りになる傾向があります。⇒重点目標を反映した「プロジェクトチーム」を複数つくり、横断的かつ柔軟に取り組むようにしたら良いのではないのでしょうか？

**質問④：学校は、働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。(5)**

- 雰囲気は良く感じています。
- これも先生方のアンケートの結果から話しやすい雰囲気、働きやすい学校だと感じたから。
- 連絡帳のIT化や健康観察記録のIT化などで、職員の作業時間をまだまだ減らせると考える。
- 上の方が環境整備を努力しているように見える。どうしても必要な雑務は親に依頼したらいいのかも。今は学校に行く機会が無いのでお手伝い名目のこっそり参観もできる…。
- 職場の風通しは良いと感じますが、働き方改革の取組みは十分ではないと思います。⇒対応として、①管理・報告的な業務を大胆に減らす、②ICTツールを上手に活用する、③学校が全てを担うという考え方を変えて、保護者・地域／企業、他の行政(社会教育系や福祉系)を活かす、④職員室のレイアウト変更による使い勝手とマインドチェンジ、などを、皆で話し合いながら進めたらよいと考えます。

**質問⑤：学校は、教職員一人一人に教育公務員としての自覚と誇りを持たせ、互いに連携・協力しながら事故防止に努められる環境づくりをしている。(3)**

- 素敵な先生が多いイメージです。
- 学年、学校全体としても、相談しやすいと関している職員が多いと感じました。管理職のリーダーシップも大きいと思います。
- 忙しすぎたら全部後回しになりそう。

**質問⑥：学校は、安全に配慮し、危機管理体制を整えている。(4)**

- 地域、中学校などとの連携強化が必要かと思います。
- コロナだけではなく、今の世の中はいろいろな想定外のことが起こりうると感じているので、学校、地域などが、想像し、知恵をだしあって、マニュアル作りや訓練などの取り組みが必要かと考えます。
- 防犯カメラの設置、通学路横断歩道に見守りの方がいてくださったり、長期間休みの際の安全な過ごし方等のプリント配布。
- できる限りを尽くしてくれているように見える。

**質問⑦：学校は、地震や火災などを想定した訓練を計画的に実施し、効果的な防災教育を行っている。(7)**

- 近隣自治会の防災用資材の管理を請け負うなど、積極的な姿勢が見受けられるため。
- 学童クラブ職員も参加させてもらえるとありがたい。
- 地域、中学校などとの連携強化が必要かと思います。

- ⑥と同じです。
- 引き取り訓練の実施があったため。もっと掘り下げた身近に感じる訓練もしてほしい。
- 学校運営協議会で、危機管理マニュアルを拝見し、しっかり準備がされていることを確認できたため。
- 訓練は何が正解かはわからない。保護者が子を迎えに行くのは訓練だから直ぐ出来るけれども、実際は近所に勤めていなかった無理だと思うのでその場合の具体策を知りたい。

**質問⑧：学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。(6)**

- 出来ることが少ない現状での取組ありがとうございます。さらに今後を期待します。
- 地域性がないといいながらも、保護者の協力を得て、校外学習など実施できたのことも見て、地域や保護者ともっと連携することもありかと思えます。
- 昔遊びに関する授業で、西大和団地との連携を計画するなど高く評価出来る。コロナ禍で中止となったが、引き続き連携が進むことを願う。
- 連携は始まったばかりでこれからだから。
- まだ具体的に動いていないため。
- 学校は「教育は自分たちの役割」と考えがちだし、外部が入ることに抵抗感を持つことも多く、あまり活かせてないと思えます。⇒ICT 機器やプログラミング、外国語など、新たに加わった領域に関してもっと外部の力を活かしたらよいと思えます。また、防災や食育などでも、アイデアを出しながら積極的な活用を模索していけばよいと考えます。例えば、【コミュニティ・スクールを活かし、「社会に開かれた教育課程」による生きた学びを推進する】プロジェクト、などで取り組んでみてはいかがでしょうか？

**質問⑨：学校は、「社会に開かれた教育課程」を志向し、家庭や地域と学校教育の目標や内容を共有している。(6)**

- 地域コミュニティ構築のために、もっと地域と学校授業がコラボ出来るようなシステムが出来ると、各担任の先生たちもコミュニティ構築がしやすいのでは？
- 担当化が進み多数の先生がかかわってくれることを期待します。
- 少しずつ開いてきたと感じます、これからだと思います。
- 目標の共有・内容の共有までは至っていないと考えるため。
- 共有したい人には届いている。
- 「さくら連絡網」や「広沢小かわら版」などを通して、こまめに情報を発信しています。ただ、管理職中心で動いている感があり、そのご尽力は素晴らしいと感じますが、もっと他の人たちも一緒に進めたほうが良いと思えます。⇒質問⑧とも関係しますが、プロジェクトで進めたらいかがでしょうか？

**質問⑩：児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。(4)**

- 先生方の努力と、家庭での教育力を感じて。
- 熱心な指導に感謝しています。学期を追うごとにしっかりと習得していることが実感できています。
- 習った事は身につけているように見える。
- 宿題の質や内容に偏りがありすぎと感じます。担任任せになっていると基礎学力の習得に差がでると思えます。

**質問①:学校は、学力向上(主体的・対話的で深い学びの実現等)を目指し、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。(3)**

- アンケート結果を参考にして。
- 漢字で書ける文字、知っている文字は書く事を認めてあげて欲しい。家でも知っているも『習ってない字だから書いちゃダメ』と書かない。習っていないからと変なブレーキはかけなくて良いと思うし、習ってないは数年後通用しない。
- 学力向上に取り組んでいると思います。ただ、教室の中にいる多様な子どもたちに対して、ICTも活用した「個別最適な学びと協働的な学び」をもっと工夫することが望まれます。⇒一人一台端末も活かしてどのような学びができるか、プロジェクトチームで取り組んでみたらいかがでしょうか？

**質問②:学校は、外国語等の学習や ICT の活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。(5)**

- 仕事がいっぱいですね、教職員だけでは限界があると思います。外部の有効活用が必要かと感じています。
- タブレットを利用した授業の様子など拝見させてもらったり、保護者の感想を聞いたりして。
- もっとタブレット端末を用いた授業を、コロナ対応抜きにして、取り入れ、熟度の高い授業が出来る体制を築いて欲しい。そのことが感染拡大時期に積極的にオンライン授業に切り替える判断を後押しすると考える。
- 努力してくださっている。
- ICTの活用に関しては、他の自治体と比べて遅れていると感じます。⇒苦手な教員もいると思いますし、ICTはツールなので万能ではありませんが、先行している学校を見学するなどして、そのメリット・デメリットを吟味しながら、より積極的な活用を考えたらよいと思います。

**質問③:学校は、児童の実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。(4)**

- 実態がわかりません。
- コロナ禍で予定通り行かないことが多い中でも、臨機応変にカリキュラムを組んでくれていると感じられるため。
- 学力テストでは点が高いから。
- カリキュラムマネジメントは、学校の教育目標からブレークダウンされていくものだと思いますが、自己評価記述を見ると確立されているかどうか分かりません。⇒「学校の教育目標」⇒「育成したい資質・能力」⇒「カリキュラム・デザイン」⇒「単元の構成」のようにブレークダウンしたうえで、「PDCA」を回していくことが大切だと思います。ただ、網羅的にやると膨大な工数を要します。大切なのは、子どもがより良く学べることであり、編成をすることではないので、どこでバランスさせるかは考えどころですね。

**質問④:学校は、児童が学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。(3)**

- 学校内をよくうろろしていますが、いつも感心しています。
- 子どもたちが、自己肯定感をもって落ち着いていると感じるから。
- 我が子はルール大好きで親が疲れたから。

**質問⑮:学校は、児童一人一人に寄り添い、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。(5)**

- 学校の雰囲気がいいと思います。指導ありがとうございます。
- ホウレンソウ、を掲げていて、教師がひとりで抱え込むことなく共通理解を図っていると感じるから。
- 教育相談室を始め、先生方が一丸となって対応してくれていることを実感できています。
- いじめになりそうな時から職員で共有していると聞いて安心した。即警察でいいんじゃないでしょうか。
- 教員からはいじめなどのトラブルが無いという声が多いが、保護者からは把握しきれていないという意見があるし、子どもからは相談しづらいという声がある。⇒さらに共通理解が進むような手立てを考えたらよいと思います。(他の取組み事例のスタディなども含めて)

**質問⑯:学校は、児童の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。(2)**

- アンケート結果から。
- 担任一人では無理ではなかろうか。

**質問⑰:児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身に付けている。(2)**

- 教師や家庭だけでなく、縦割りの関係や友だちから学ぶ機会も多いと感じるから。
- 我が子は外ではきちりしていたようで、感心しました。

**質問⑱:児童は、体育の授業や外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。(3)**

- 楽しく体を動かしている児童がいっぱいいました。
- コロナ禍の中、この環境を多いに利用するといいいのでは。樹林公園、児童センター、自衛隊体育学校等。
- 目標を立てて頑張っていました。

**質問⑲:学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。(6)**

- コロナ禍では難しいですね・・・。
- 体育集会、運動委員会などの取り組みが、本来のように工夫してできていればよいと思う。
- 冬休みの宿題(一年生)に縄跳びの宿題があったのがよかった。
- 子供達取り組みやすい遊びなどを取り入れて、体育の授業を行なってくれていると認識しています。
- 楽しそうでした。
- 以前はあった、縄跳び大会もなくなり特別な対策を出していないため。

**質問⑳:学校は、普段から児童に食育や体の健康に関する指導を行っている。(3)**

- 保健、食育の計画があり、養護教諭や栄養教諭と担任が協力して行っていると思うから。

- 給食のメニューでの工夫からも食育の取組を感じられるし、給食の際に担任の先生が話してくれた食育に関する話題を、帰宅後、家で話してくれます。
- 子供が家で食材の名前を覚えていたり、料理の説明をしてくれた。

#### 質問①:学校は児童のよさを見つけ、児童を理解しようと努めている。(4)

- 先生、「素晴らしい」「すごい」と感じる人が多いです。
- みどり学級を学校を中心に置いていること。転出入が多いが、先生方も児童たちもすぐ仲良く受け入れ、個を大切にしている。
- 意識的に、児童の頑張りをよく褒めてくださっているのを実感します。自信に繋がっており、とても感謝しています。
- 詳しくはわからないが、とにかく学校が楽しそうなので。

#### 質問②:学校は児童の現状をとらえ、新しい時代を生きる児童に必要な力の育成に努めている。(4)

- 予測困難な時代、時期で回答がないです。
- そうあってほしいとの思いから。
- 学校は色んな人がいると教えてくれるいい場所だと思います。新しい時代を生きる力←ここまで学校に求めていいんですか？
- 児童の現状をとらえているとは思うものの、新しい時代を生きる児童に必要な力がなにで、それをどう育むか、という共通理解は十分ではないと感じます。⇒「主体的・対話的で深い学び」とはどういうことか、教師主導型授業からの脱却、逆思考の授業設計、コーディネート発問、は具体的にどうしていくのか、などをさらに話し合いながら取り組んでいくと良いと思います。

#### 質問③:その他・ご意見・改善策等ありましたら、ご記入ください。(4)

- 先生たちも色々大変ですが、子供たちを育てる環境の一員として、一緒に足並みを揃えて行きたいです。
- いちもありがとうございます。教職員の、働き方改革や収入 UP が進むことを望みます。がんばってください。
- 特にないので、与那国小学校で驚いた事を書きます。
  - ・一年生から算数・漢字検定を受けている。(沖縄県の学力低い問題があるためかと思いました。)三年生の娘は危機感を持って自分から受験生の様子がつつり勉強をしていた。一年生は算数ピラミッドのタイムトライアルを楽しんでいました。
  - ・発表が多い。
 1クラスが14人しか居ないのかもしれませんが、イルカを調べてコピペだけどレポートをだしたり、パワポで何やら発表したり、冬休み前からダンスをYouTubeで見て踊りの発表したり(特技がある子は、ピアノ・与那国語・フラダンスも個人で披露していた)
  - ・体育の日は体操服登校してもオッケー、終わったら着替えをする、毎回体操服持ち帰る。体操服の規定は無し。←いいね!
- 広沢小は教職員間の風通しが良く、「ほうれそうのおひたし」を実践されていると思います。いっぽう、今の日本の学校では、①忙し過ぎて余白がない＝新しいことを考えたり進めたりする余裕がない、②指導管理型のマネジメントで自由度が無い＝教員が主体的・対話的で深く仕事をするのが難しい、という声が多いです。

- ⇒①過去の慣習から離れて、大胆に仕事の断捨離を進めて【余白】を生み出しませんか。②他律から脱して自らがどうしたいか考えて自律的に行動【自走】、③他の教員や外部の人たちと対話をしながら新たな価値を生み出す【協創】、④子どもたちを指導・管理するのではなく、支援・伴走する【共育】、をみんなで進めませんか。